

ごみも貴重な資源です！

平成28年1月28日(木)に二村台3区の燃えるごみの中に、どんなものが入っているかの調査を行いました。結果は裏面のとおりです。



調査中の風景

調査をしたごみの中には、乾電池、ライター、穴の開いていないスプレー缶の混入がありました。これらは発火の危険性があり、ごみ収集車火災を引き起こすおそれがありますので絶対にいれしないでください。

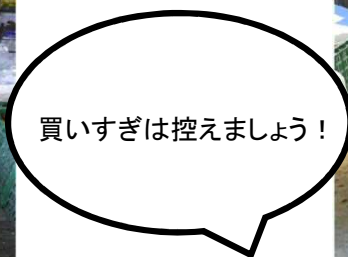
調査の結果、重量比で約21.2%の資源ごみが燃えるごみの中に混入していました。その中でも特に、プラスチック製容器包装、紙製容器包装、新聞、雑誌に分別されるべきものが多く目立ちました。

これらのものは、燃えるごみとして出されがちですが、分別して資源ごみとしてお出しただけであれば、リサイクルされ、ごみの減量に繋がります。また、今回は調査対象地区が二村台3区ということで生ごみ分別収集地区ですが、生ごみも重量比で約29.9%が出されていました。その中でも全く手のつけられていない生ごみも目立ち、非常にもったいないなという印象です。

使いきれ的分だけ買っていただいたり、使える部分は使い切っていただくようなエコクッキングを実践していただくことで、かなりのごみの減量になります。



手を付けている生ごみ(全体の27.7%)



手を付けていない生ごみ(全体の2.2%)

ごみの減量は、焼却施設から出る二酸化炭素や大気汚染物質の量が少なくなる事に加え、ごみの処分にかかるコストも低くなり、ごみの最終処分場の延命も図られます。

ごみの処分量を減らすには、まずごみをなるべく出さないようにすること、そして分別の徹底をはかり、資源ごみを再利用することが重要です。

市民の皆さまの意識をより高めていただき、ごみの減量にご協力をお願いします。

平成27年度 可燃ごみ組成調査

分別種類	分別品目	重量 (kg)	重量比率 (%)
可燃ごみ	可燃ごみ	53.8	48.8
	手をつけていない生ごみ	2.4	2.2
	手をつけている生ごみ	30.5	27.7
資源ごみ	プラスチック製容器包装	3.6	3.3
	紙製容器包装	4.1	3.7
	牛乳パック	0.8	0.7
	新聞	4.5	4.1
	雑誌	8.6	7.8
	ダンボール	0.8	0.7
	衣類・布類	1.0	0.9
	ペットボトル	6本	—
	アルミ	0.0	—
	スチール	0.0	—
	ビン	0.0	—
不燃ごみ	不燃ごみ	0.1	0.1
禁忌品	乾電池・ライター	各2個	—
合 計		110.2	100.0

